

授業科目 精神看護学概論

【担当教員名】 金谷 光子、西川 薫		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【一般目標：GI0】 こころの健康およびこころ病を持つ人への理解を深め、専門家として適切な援助の在り方を学ぶ。					
【行動目標：SBO】 1. こころの健康および予防について説明できる。 2. こころの病を持つ人を取り巻く諸問題（歴史的・社会的・法律的・福祉的）について列挙できる。 3. こころの病を持つ人の病期（急性期・慢性期・リハビリテーション期）の特徴と看護の在り方について説明できる。 4. こころの病が日常生活に及ぼす影響と看護の在り方についてアンダーウッド理論を用いて説明できる。 5. こころの病と家族の関係性について、家族支援の視点から説明できる。 6. 精神看護の対象の広がりについてコンサルテーション・リエゾン看護の視点から説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	こころの健康および予防・心の病を持つ人の特徴について理解する	1	講義、担当：金谷 光子		
2	精神医療を取り巻く歴史的・社会的・法律の変遷	2	講義、担当：西川 薫		
3	こころの病が日常生活に及ぼす影響と看護：アンダーウッド理論	3	講義、担当：金谷 光子		
4	こころの病が日常生活に及ぼす影響と看護：アンダーウッド理論	3	講義、担当：金谷 光子		
5	こころの病と病期（慢性期・リハビリテーション期）の特性と看護のあり方	3・4	講義、担当：金谷 光子		
6	こころの病と家族	5	講義、担当：金谷 光子		
7	こころの病を取り巻く法律の変遷：障害者福祉法	2	講義、担当：西川 薫		
8	精神看護学の対象の広がり：コンサルテーション・リエゾン	6	講義、担当：金谷 光子		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		実践看護技術学習テキスト 精神看護学	野嶋佐由美	日本看護協会	2002・3,900円＋税
参考書		精神看護学ノート 第2	武井麻子	医学書	2005・2,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 各授業において記入したリフレクションシート：20%程度 試験：80%程度		【履修上の留意点】 授業中の積極的発言を望む			